

第4回ワークショップでは、『町割の検討』『市民アンケートの検討』を行いました。



前回までの各班の町割案から全体の共通意見を基に事務局から“共通町割界”を作成しました。



1回目のグループワークの結果、事務局案・各班のそれぞれと意見の合致を見られない箇所がありました。



1回目のワークショップ



各班のまとめは次頁にあります。



▲事務局として、7つのゾーンで提示させて頂きました。



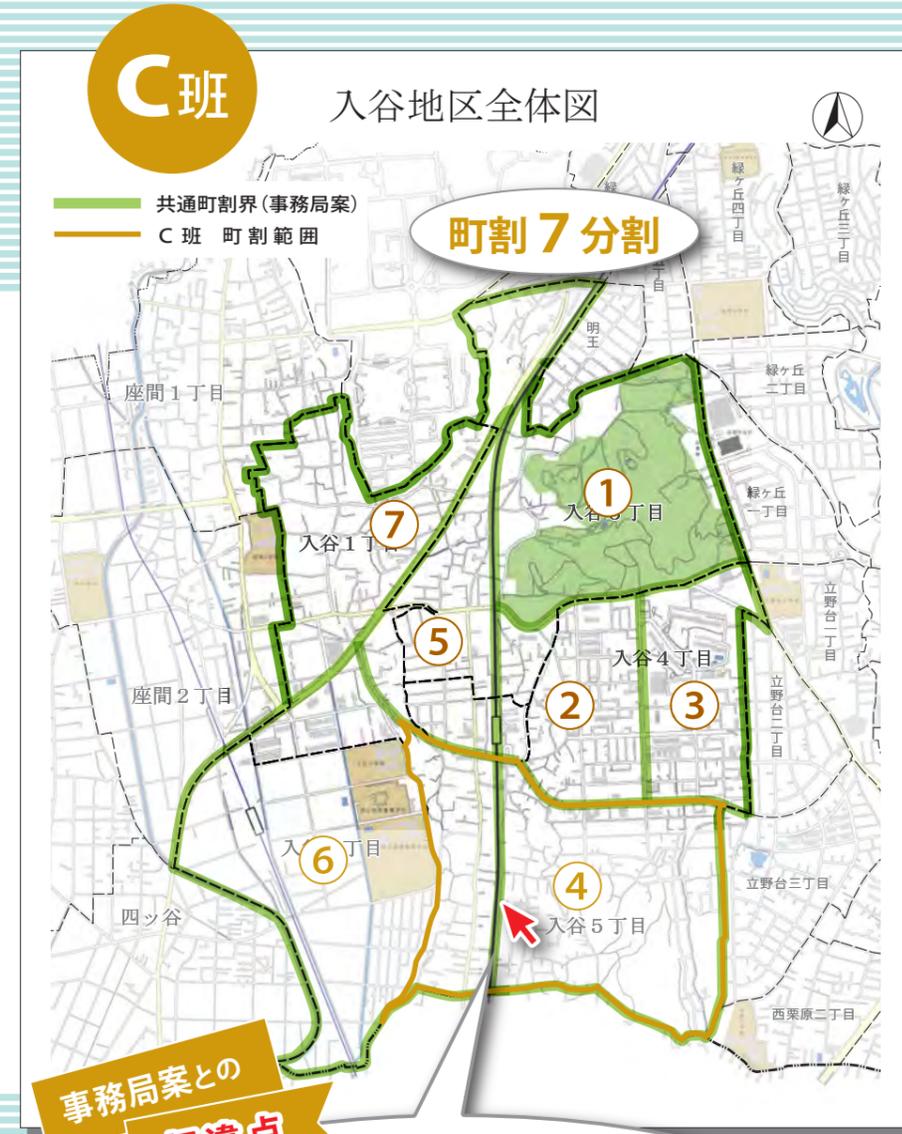
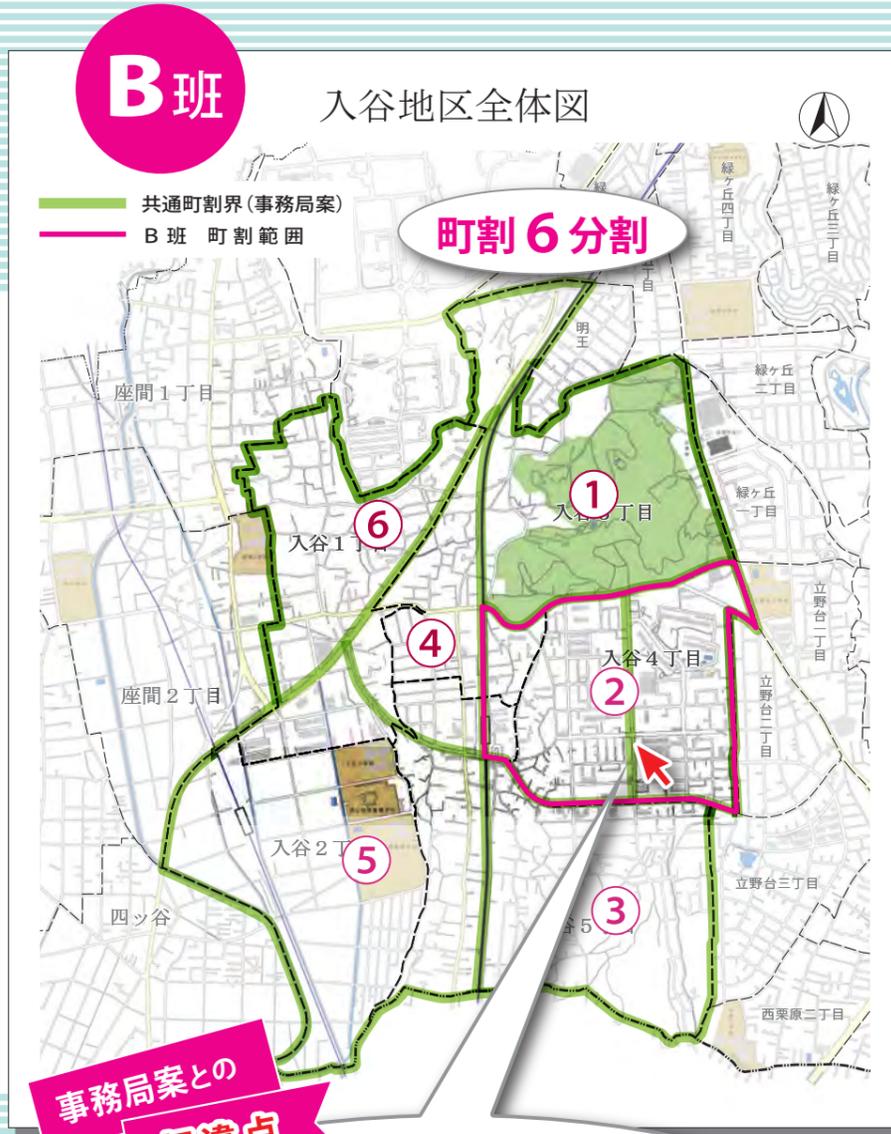
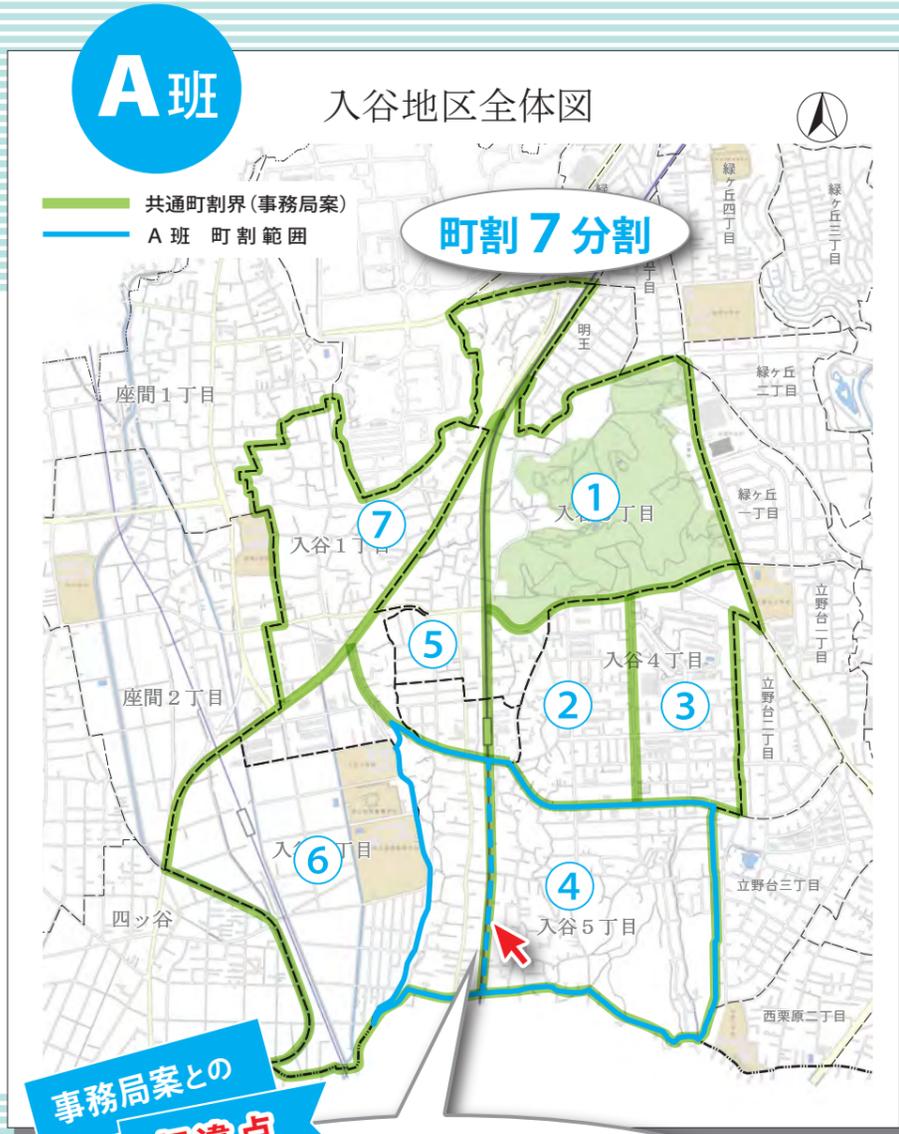
◎市民アンケート実施に際して、アンケート内で市民の方へ意見を聞くため、次回、検討会としての町割案を収束したいと思います。

第4回ワークショップでは、『町割の検討』『市民アンケートの検討』を行いました。



まず1回目のグループワークは、検討中の町割の統一案を考えるべく、

今まで検討してきた町割の共通部分を整理した“共通町割界”を事務局案として提示し、それらを基に各班で意見を出してもらいました。



町割の原則・段取り的にも小田急線で区切りたいが、地域性・土地の利用状況を見つつ区切るか区切らないか判断。

区画された街区が多い地区であるが、ここは特に分けなくて良いと思う。
①、③と同規模でバランスも良い。

線路で分断された左右で同じ土地所有の方が多く、地元としては一体性があると思う。ということで、ここでは区切らない。

以前の検討会で、全体の事業規模が大きい為、小田急線で分割し2期に分け実施しては？という共通意見が出ました。

今回のA、C班の④に当たる範囲をひとつの町と考えるが、“町名は同一としながらも、実施は小田急線で分けるやり方ではどうか”という案があがりました。

